

極超低騒音型やLPガス発電装置をPR デンヨーとニシハツが愛知県で内覧会

自家発電装置メーカーのデンヨー株式会社（白鳥昌一社長）とグループ企業のニシハツ株式会社（有満文俊社長）は共同で、建設機械のリース・レンタル企業などを招き、5月21日～22日の2日間、「製品内覧会」を愛知県で開催しました。政府が推進する国土強靱（きょうじん）化政策においても災害時の非常電源として注目を集める防災用・非常用発電装置を中心として、最新の製品を展示してPRを行いました。

今回、愛知県弥富市楠2丁目のYUMAC名古屋会場では、大地震や情報セキュリティ事故などの緊急事態においても職員の安全を確保しつつ、事業の早期復旧を可能とする、中小企業自治体など向けBCP対策システムの「LPガス発電装置」の実機展示を行いました。パネル展示を交え、LPガス業界団体が申請窓口を務める設置助成制度についても発電装置のユーザー向けに啓蒙活動を行いました。

また、消防法に適合した医療機関向け「防災用自家発電装置」や、国土交通省が定める超低騒音型発電機の騒音基準値を大幅に下回る“極超低騒音”を実現した金融機関向け「一般停電用発電機」、三相・单相を同時に出力できるイベント会場向け「移動電源車」などの最新の製品が来場者たちの関心を集めました。主な展示品を紹介します。



25kVAのPX-25MSR (UB)

ます。扉は二重にゴムを巻いて格別な「防音対策」も講じており、市街地でも専用の燃料小出槽と組み合わせると発電装置は屋上設置が可能です。通信会社より受注済み。今後、病院介護施設・オフィス向けにBCP対策用システムとして積極的に売り込んでいきます。ニシハツ仕様は「PX-65ESR(UB)」、デンヨー仕様は「DCA-65USGF」。

・長時間形25kVAタイプ

特長として省スペース化、寒冷地仕様に対応しており、データセンターや通信会社向けBCP対策用システムとして最適とのこと。ニシハツ仕様は「PX-25MSR(UB)」、デンヨー仕様は「DCA-25USGF」。

定 置 式

▼極超低騒音の防災用自家発電装置

デンヨー、ニシハツ両社が2017年に販売開始したスプリンクラーや消火栓ポンプなどの消防法適合認定品の防災用自家発電装置。生産はニシハツ唐津工場が担当し、顧客ニーズを受け定格出力をアップした66kVAと25kVAの2タイプを展示しました。いずれも軽油仕様の長時間形で、騒音値は65db/1m(A)と極超低騒音を達成しています。

・長時間形66kVAタイプ

特長として省スペース化、寒冷地仕様を図ってい



66kVAのPX-65ESR (UB)

▼縦型極小スペースの非常用自家発電装置

狭小な敷地で設置可能な縦型構造とした軽油仕様の低騒音型非常用自家発電装置。始動盤、インバーター発電機を内蔵し、静かなクボタ製2気筒エンジンを搭載した定格出力6kVAと3kVAの2タイプを展示しました。騒音値は75db/1m(A)。6kVAタイプはニシハツ仕様「SL2-106KSR(BB)」、デンヨー仕様「TLG-6SSGXF」。3kVAタイプはデンヨー仕様「DA-3000SST」。

特長として大容量198L燃料タンクを搭載し、72時間の連続運転が可能（3日間分）。放送・通信機器施設、防災無線や中継局、避難所、国土交通省河川局において河川監視カメラなどの予備電源として



縦型非常用6kVAタイプ（右）と3kVAタイプ

採用されています。最近のお客様のニーズは168時間の連続運転が可能（7日間分）な非常用自家発電装置の供給が求められるといえます。

▼極超低騒音型のLPガス発電装置

災害時でも安定的に燃料供給できる安定したライフラインとしてLPガス燃料は注目を集めています。デンヨーの「極超低騒音型の非常用LPガス自家発電装置」は2タイプがあります。

定格出力31kVAの「LEG-31USXT」と定格出力9.9kVAの「LEG-9.9USXT」。騒音値は前者が62db/1m(A)、後者が56db/1m(A)。デンヨー福井工場生産しています。

停電対策用として病院介護施設のほか、災害発生時には避難所施設として利用される三重県の運動公園、地下に簡易トイレを保有する神戸市の震災公園での設置実績があります。特長としてデンヨーが開発したマイコン制御装置「EGジェーン」を標準装備し、15台の並列運転が可能。国の設置助成制度を活用して「災害時対応バルク貯槽システム（298kg～2,900kg）」を別置きすれば、最長8日間程度、連続運転が可能といえます。



非常用LPガス発電装置「レグ・パワー」

一方、精密機器の負荷にも対応可能で、ピークカット用システムやBCP対策用システムとして設置が図られている「常用LPガス自家発電装置」も展示しました。型式はLLG-35US。定格出力35kVA。騒音値62db/1m(A)。

移動式

▼移動電源車

デンヨーがイベント事業向けに開発しました。トラックの荷台に、発電出力150kVA×2台と、燃料タンクも2台を搭載しています。この移動電源車は電気系統の信頼性能が高く評価されています。デンヨーは現在、移動電源車を50台以上を保有し、自家発電界での保有台数は2番手といえます。大型車タイプ700kVA×2台（1,400kVA）もあります。

近年、病院・商業施設などにおいて、高圧受電盤の入替工事の際に電力会社が遮断するので、その間



移動電源車（150kVA×2台）

にこの移動電源車を用いて電力供給を行う使用形態が多いといえます。レンタル価格は150kVAのレンタル可搬形発電機を1日単位で借りる料金とほぼ同額といえます。

ただし、レンタル可搬形発電機を使用する場合はラフタークレーンで吊り揚げたり、吊り降ろしたりする必要があります。大手ゼネコンの建設現場で使用する場合は燃料漏れを防ぐため、発電機の下にプールの設置が求められます。総合的に勘案すると、1日単位で借りる場合の料金は移動電源車の方が手間いらずで割安になるといえます。

▼三相・单相が同時出力できる可搬形発電装置

サイマルジェネレータ「TLG-8LSK-D」。レンタル事業者向けに販売中。特長は三相用と单相用の巻き線が2つ入っており、親子発電装置の形態を採用し、三相4線8kVA・单相3線5kVAが同時出力可能といえます。エアコン用と銀行ATM用のタンドム仕様。騒音値62db/1m(A)。

なお、デンヨーはパネルの構造を二重化し騒音値43dbを達成した25kVA静音発電機「マーリエ（DCA-25MZ）」を2017年に販売開始しました。三相400V級～三相200V級～单相100V/200V級をワンタッチで切り替え可能で、单相コンセントを6個装備し、配線作業の効率化が図られるといえます。上位機種種の40kVAタイプも年内に発売予定。

▼負荷試験装置（200kW用）

デンヨーの全サービス工場では負荷試験装置「LE-75」（200kW用）を保有し、可搬形発電装置の点検整備などのサービスも実施しています。



サイマルジェネレータ「TLG-8LSK-D」